

アンサンブル・ノマド 第87回定期演奏会



ノマドは語らう vol.1 :

ファン・カルロス・ ラグーナとの語らい

2026 7/13 Mon.

18:30 開場 / 19:00 開演

東京オペラシティ リサイタルホール

L. コラル：ポエマ～武満徹の追憶に (2015)
Leonardo Coral : Poema en memoria de Toru Takemitsu

北爪道夫：10 リズム・ドリーム (2026)
～池上敏 基金委嘱 世界初演
Michio Kitazume : 10 Rhythm-Dreams

A. カスティージャ＝アヴィラ：
オブ・ザ・ロスト・ラスト (2023) ～世界初演
Agustín Castilla-Ávila : Of the Lost Lust

M. ビアシ：五輪書 (2026)
～池上敏 基金委嘱 世界初演
Marco de Biasi : Il Libro dei Cinque anelli

coba：ノマドのための新作 (2026)
～池上敏 基金委嘱 世界初演
coba : New Composition for NOMAD

※曲目は変更になる場合がございます。

出演者： **Ensemble NOMAD**

佐藤紀雄 (cond/gt)
木ノ脇道元 (fl) 菊地秀夫 (cl)
野口千代光・花田和加子 (vn)
甲斐史子 (va) 佐藤洋嗣 (cb)
中川賢一 (pf) 宮本典子 (perc)

Solo

Juan Carlos Laguna (gt)
葉師寺典子 (sop)
小林太郎 (和太鼓)
coba (acco)

Guest

北嶋愛季 (vc)

TICKET

【前売】	一般 ¥4,000	【当日】	一般 ¥4,500
	大学生 ¥2,000		大学生 ¥2,500
	高校生以下 ¥1,000		高校生以下 ¥1,500

(就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)

チケット取り扱い

東京オペラシティチケットセンター
Tel: 03-5353-9999

アンサンブル・ノマド ウェブサイト
<http://www.ensemble-nomad.com/>

お問い合わせ

キーノート Tel: 0422-44-1165
Mail: keynote_music@fohhi-ho.ne.jp

主催：一般社団法人 アンサンブル・ノマド

助成：独立行政法人 日本芸術文化振興基金

公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

NOMURA 野村財団

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

公益財団法人 朝日新聞文化財団



アンサンブル・ノマド 第87回定期演奏会



ノマドは語らう vol.1:

ファン・カルロス・ラグーナとの語らい

アンサンブル・ノマドの29年間にわたる活動は、海外の音楽家達とも豊かな交流を生んできました。それら作曲家や演奏家との交流からは素晴らしい作品が多く生まれてきました。なかでもメキシコの音楽家達との親密な交流は特別なもので、その切っ掛けをつくったのが、今回定期演奏会に初めて登場するメキシコを代表するギタリスト、ファン・カルロス・ラグーナでした。まさに待ちに待った機会です。

このプログラムでは他の素晴らしいゲストもお招きし、メキシコ、イタリア、スペイン、日本の様々なタイプの作曲家の作品とノマドが語り合う“ひろば”を作りました。

佐藤 紀雄

ENSEMBLE NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。

「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に探り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されてきた。

2002年度に行った第15回定期演奏会「ケージとメンシアンの間で交わる自然と宇宙に関する往復書簡」は大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を、2014年度に行った第52回定期演奏会「再生へ vol.3: 祈り〜エストニアから震災復興を祈るコンサート」により「第3回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「カウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンボ」、2005年11月パリで行われた「フェスティバル・アテンボ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また2008年10月にはソウルでの「パン・ムジーク・フェスティヴァル」などに出演。2009年秋には、中国の北京首都師範大学、北京中央音楽学院、四川音楽学院で中国人作品を中心としたプログラムの公演を行ない、好評を博した。2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年7月にはエストニアとオランダで公演を開催。2014年にはメキシコの「セルバンティノ音楽祭」に日本を代表するアンサンブルの1つとして招聘された。

2015年12月に再び中国四川公演を行い、2020年には「ライブツィヒ現代音楽祭」にonlineで参加。2023年11月には3度目の四川公演を行った。今後もフランスやメキシコなどでの公演を予定している。

また、近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等でも訪問コンサートやワークショップを行なっている。

CDは、これまで近藤謙「梔子」、空の眺め、「オリエント・オリエンテーション」、表面・奥行き・色彩、石田秀実「神聖な杜の湿り気を運ぶもの」、池辺晋一郎「炎の資格」、福士剛夫「花降る森」が発売されている他、藤倉大の「Turtle Totem」、Diamond Dust、「Glorious Clouds」にもライブ録音が収録されている。海外では2011年秋にエベルト・バスケスの「Bestiario (動物寓話集)」、2015年秋に「Pruebas de vida (生命の証)」がリリースされている。2014年にはオリジナル・アルバム「めぐるーMeguru」を発売。2015年夏から秋にかけて発売された「現代中国の作曲家たち」シリーズは、レコード芸術誌の特選盤や朝日新聞の「for your collection」推薦盤に選ばれている。公式ウェブサイト: www.ensemble-nomad.com/

Guest



Juan Carlos Laguna (gt)



葉師寺典子 (sop)



coba (acco)



小林太郎 (和太鼓)



北嶋愛季 (vc)



©Maki Takagi

#87 出演者 / Ensemble NOMAD

佐藤紀雄 (cond/gt) 木ノ脇道元 (fl) 菊地秀夫 (cl)
野口千代光・花田和加子 (vn) 甲斐史子 (va)
佐藤洋剛 (cb) 中川賢一 (pf) 宮本典子 (perc)

東京オペラシティ リサイタルホール

東京都新宿区西新宿 3-20-2

東京オペラシティ B1F

Tel: 03-5353-0788

京王新線「初台駅」東口下車徒歩3分